

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	府中町立府中中央小学校	校長氏名	埜田 武浩	生徒指導主事氏名	小川 博正
取組事例名 『「山・海・島」体験活動』					
取組のねらい『高学年としての自覚の育成』					
<p>○自然の中で生活することにより，情操を養い，自然を味わい，自然を愛する心を育てる。</p> <p>○自分達で考え，計画・実践する活動を通して，自主的な態度を育てる。</p> <p>○寝食を共にする生活を通して，思いやりの大切さや望ましい集団行動の在り方を学ばせ，児童相互，児童と教師の人間的なふれあいを深める。</p>					
取組の具体的内容『努力・見通し・切りかえ』					
<p>○学級活動 班活動や当番活動などで仕事を分担させ，リーダーを決めて各自責任をもたせた。</p> <p>○道徳「心のレシーブ」2-(3)信頼友情，男女の協力 やる気のない友達の状態に接した時の主人公の気持ちやその後の友達のがんばりに気付き，心をひとつにしてまとまっていく様子を考えた。</p> <p>○ローポート 役割分担し，乗船―出発―漕艇―下船の段取りについて細かく打ち合わせて練習を繰り返した。</p> <p>○朝の集い，班長会，食事等 5 分前集合を徹底させた。</p>					
取組の工夫『自立心と主体性』					
<p>○学級活動 実行委員会を立ち上げ，実行委員を中心に活動を進めた。</p> <p>○道徳 協力して活動するためには，どんな心がけが必要かについて自分の考えをワークシートに書かせ，グループトークで交流した。</p> <p>○ローポート 1 回目の経験が生かせるよう，2 回目の活動を入れた。</p>					
取組の成果（効果）『協力と感謝』					
<p>○相手の気持ちになって考えられるようになり，協力してやり遂げることのよさを学ぶことができた。</p> <p>○試行錯誤しながら成功体験を重ねることで自己肯定感が持てるようになってきた。</p> <p>○支えてくれている家族の存在に感謝の気持ちを持ち，自ら進んで身の回りのことが出来るようになった。</p>					
今後の展開『学びを生かす』					
<p>○体験活動での経験がその場だけのものになってしまうことがあり，学校生活にうまく生かせないことがあった（日にちがたつにつれ，時間に対してルーズな面が見られるなど）。そのため，体験活動を通して成長した面と課題の面を明らかにし，それらをもとに体験活動の見直しを図る。その際「課題発見・解決学習」をイメージした内容を設定する。</p>					
他校へのアドバイス『実態把握』					
<p>○生活体験が乏しい児童が多く，児童の実態把握をした上で体験活動を設定する。</p>					